

# 航空機向けアルミ青銅部材

## 大和合金 海外販売強化

### 中国で2社目受注

銅合金鑄鍛メーカーの大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏）はこのほど、中国アモイの航空機整備会社からランディングギア用のフッシュ部品77本を受注した。出荷開始は1月中旬の予定。中国での航空機向けフッシュ部品の受注は昨年獲得した北京の国营整備会社向けに次いで2社目となる。

フッシュは鍛造も押出で製造する円筒形の素材で、同社はアルミ青銅製ものを国内大手航空機グループの整備会社に納入してきた。用途は足回りの軸受けなどで、航空機整

非鉄金属

備会社や部品会社が軸受けに加工している。大和合金では海外向けの出荷も拡大したいと考えて、英文の品質マニュアルなどを整える取り組みを進めてきた。今回の受注分については09年末には認定を取得。担当者を現地に派遣するなど営業活動を活性化していた。

萩野源次郎常務は「今後は継続的な受注を指していきたい」としている。